

特集 まちの記憶を共有する

受け継ぎ 後世に受け継いでいく

これまで市が撮りためた写真は7,000枚以上。そのうち約200枚をデジタル化し、市ホームページ上に公開した「返子フォト」を昨年12月1日にオープンしました。今月は、返子フォトに掲載した写真を基に、市内の移り変わりを紹介します。写真を見て思い出を語り合ったり、昔の写真をヒントに現在の場所を探してまちを冒険したり。写真を自由に使って返子の魅力を再発見してみませんか。

企画課広聴広報係



しまむらサイクル
鳥村満壽夫さん(返子)



フォトギャラリーサイト

返子フォト

掲載している写真はクレジット表記をした上で自由に使用することができます。ただし、営利目的の場合には、申請が必要です。



トップページ



QRコード

明治43年、返子銀座通り商店街で創業して107年。しまむらサイクルは今も変わらず同じ場所で、返子のまち・人を見守っています。「返子の人の本質は今も昔も変わらない」と言う3代目店主 鳥村満壽夫さんに、話を伺いました。

あの自転車屋、他とは違うね

100年以上続けていくのはどの店にとっても、並大抵の事ではないと感じています。受け継いだ人達が、相当に頑張っている証拠です。私も、自転車の知識と経験だけは負けたくない、と一生懸命やってきました。

返子は、葉山や鎌倉に比べるとネームバリューがありません。若い頃、展示会に行くと「返子は何県ですか?」と聞かれたことがあります。返子を知ってもらうには、

あの自転車屋、他とはちょっと違うぞと思ってもらう以外に方法はないと考えました。

私は、買うのを迷っている人には売りません。本人が気に入っていても用途や体に合わないものは勧めません。だって、気に入ったものを買って欲しいし、その自転車に少しでも長く乗って欲しいじゃないですか。また、



鳥村満壽夫さん・京子さん夫妻

パンク修理で預かって、ライトやブレーキなど一通り点検してお渡しします。

人生はママチャリ

中学生の頃勉強が嫌で高校に行くつもりはありませんでした。でも恩師に、将来を考えたら高校だけは出ておけと言われて、返子開成高校へ。卒業後は、オートバイや自動車関連の仕事ができるように、自動車整備士の資格を取りました。親が一生懸命続けた自転車屋ですが、これからはオートバイだよなと思っていたんです。でも、いざ商売を始めようとした時に、好きで続けられるのは自転車だと気付いたんです。

20歳くらいから店を手伝い始め半世紀以上。振り返るといろんな事が思い出されます。どれもが大切な経験です。若い時は色々迷っていたんですよ。スポーツバイクのように早く走ろうと思わなくていい。ギアはなく、

自分の力だけで進むママチャリのように、自分らしく一步一步確実に歩んで前進して欲しいと思います。

人情あふれるまちに

最近、商店街を通る人や車が減り寂しくなると感じます。昔は歩道がなく、車は対面通行。店は夜9時頃まで開いていて活気がありました。娯楽がほとんどない時代。仕事終わりや休みの日などに、顔見知りの店になんとか行って、集まった人と雑談す

る。商店街は、自然と地域の人と人が仲良くなる場所だったんです。みんな、顔見知りや困っているのを見ると放っておけないし、おせっかいは当たり前でした。私は今もその気質は変えられない。元気がない人や困った人を見ると、つい「元気?何かあった?」と声をかけてしまいます。「商売は人が好きでないと」。昔、教えてもらった言葉で、私の好きな言葉です。

「人は人なか 木は木なか」。森の木と同じで、人も人に囲まれて、お互い守り、助け合いながら成長していくもの。昔のように、自宅でも会社でもない第3の場所として自然と人が集まる、人情あふれる温かい商店街になるよう、できる事をしていきたいと思っています。



昭和29年頃の返子銀座通り商店街

しまむらサイクル
返子市返子5-2-42 TEL 046-871-3083
営業時間: 10:00~19:00
定休日: 毎週水曜日